

# 互換授業推進や共同研究

## 熊大工学部と熊本高専 連携協定



包括的連携協定を結んだ熊本の連川貞弘工学部長（左）と熊本高専の荒木啓二郎校長。17日、熊本市中央区

熊本大工学部と熊本高専は17日、教育研究の活動全般で協力し合うため、包括的連携協定を結んだ。単位互換授業の推進や双方の学生が参加する教育プログラムの新設、教員同士の連携による共同研究を進める。両者は、2010年に授

業の単位互換に関する協定を結んだが、校舎が離れていることなどから活用実績はなかった。新型コロナウイルス禍でオンライン授業の体制が整い、改めて活用を促す。熊本高専から工学部への「3年次編入」も現在の数人程度から増やしたい考え。熊本高専の荒木啓二郎校長は「研究室の交流など、日常的な連携を進めたい」とした。

半導体受託生産最大手の台湾積体電路製造（TSMC）が菊陽町に進出することを受け、高度な技術を持った人材の育成も両者の使

命の一つと捉える。熊本大工学部の連川貞弘学部長は「大学院まで連携し、地域に根差し、産業を支える人材を育てる」と話した。

（東菅晃）